

東三河高大連携フォーラム

ビジネスにおける情報活用のための ICT教育とキャリア教育について

豊橋創造大学
情報ビジネス学部
三好哲也

目次

1. 豊橋創造大学の高大連携事業の概要
2. 高大連携事業の実施報告
3. 高大連携事業としての情報科目の展開
4. 高等学校におけるキャリア教育
5. まとめ

豊橋創造大学

経営学部の教育目標



- **教育の中心学問** : ビジネス社会で求められる
経営、会計・財務、ICT
- **経営学における実践教育**
 - 地元企業とのプロジェクト活動
- **実践的情報処理力の養成**

基礎情報処理力

– 応用力

- プログラム
- メディア表現
- ネットワーク技術者養成
- データベース技術者

実践的
情報処理力を
持った
人材輩出

併設

保健医療学部

・理学療法学科

・看護学科

短期大学部

・幼児教育学科

▪ キャリアプランニング科

本学の強みとして高大連携でも
人的、知的リソースの提供

知識と
実践の
経営学

高大連携事業への取り組み

- 人的、知的リソースの提供
- 大学初年時に実施する教育の提供

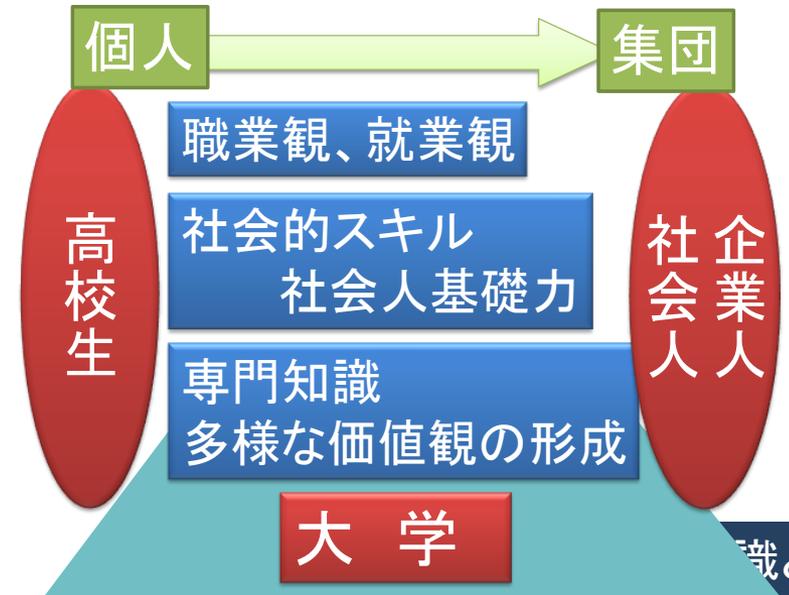
ー 情報関連教育

- 情報活用力(リテラシ、実務を例とした演習)
- ビジネス(就業)の中での利用
ex. エクセルによる名簿整理

ー キャリア教育

- 職業観、就業観
- 社会的スキル・社会人基礎
- 専門知識への導入
たとえば「ICT最前線」
- プロジェクト演習

他者と交流できる力の養成のため
一部の講義では
アクティブラーニングの導入
(グループワーク)



豊橋創造大学が行う高大連携事業

	内容	対象高校	形式
	PhotoShopによるポスター作製	豊橋西高校	半日講習
生 走 の 講 座	POP作成を通じた商業活動の理解	安城南高校、三ヶ日高校	出張講義
	Excel/VBAによるプログラム体験	幸田高校、安城南高校、 弥富高校、豊橋西高校	1日講習
	情報セキュリティと倫理	豊橋西高校、安城南高校	出張講義
	情報メディア	三ヶ日高校	出張講義
	ビジネスの中の情報活用	安城南高校	出張講義
	ICT最前線	豊橋西高校、安城南高校	出張講義
生 走 の 講 座	自分を知ろう	三ヶ日高校	出張講義
	業種と職種 働く意義	三ヶ日高校	出張講義
	知って得するビジネスマナー	安城南高校、三ヶ日高校	出張講義
	会社経営ゲーム	安城南高校、三ヶ日高校	出張講義
教員対象 の講座	学校のWebサイトを充実させるために	視聴覚教育研究会	本学開講
	キャリア教育シンポジウム	東三河高大連携協議会共催	本学 半日

高等学校からの出講要望：
情報教育とキャリア教育に関する
出講要望が多い

情報科目とキャリア教育の困難性

高校別一覧

2011三ヶ日高校		出張講義テーマ
1年	9/20(火)	業種と職種、働く意義
	1/17(火)	会社経営ゲーム
	2/7(火)	ICT最前線 キャリア教育
2年	6/14(火)	ビジネスにおける情報の活用
	9/13(火)	自分自身を知ろう
	1/31(火)	POP作成
3年	11/25(金)	ビジネスマナー

2011安城南高校		出張講義テーマ
1年	12/6	電波塔ゲームによる組織運営
	1/17	戦略的ゲーム理論
2年	9/30	経営とICTの融合 Excel VBA タイピングゲーム
	2/10	フライヤー制作を通じた商業活動
	3/9	知って得するビジネスマナー
3年	6/10(木)	知って得するビジネスマナー
	9/15(木)	ICT最前線

2011豊橋西高校		出張講義テーマ
1年	8/25(火)	1日講義(CG) 情報教育の補完
2年	2/3(金)	ICT最前線
3年	10/19(火)	情報とモラル

高等学校ごとにテーマを持って
取り組む高大連携事業

情報教育の必要性

- 背景：情報化社会へシフト
 - 生活、仕事のあらゆる状況において、情報化が進展
 - 消極的な意味：デジタルデバイドの解消
 - 積極的な意味：環境順応する能力育成
 - 活用できる力、活用する意識
- 活用事例との対比の中で教育の展開
 - 単なる技術教育ではなく、応用力養成が必要
 - このための教育コンテンツが不可欠

高大連携事業としての情報科目の展開

(2011年2月に報告)

- 「情報」科目のコンテンツ充実にむけて
 - 情報リテラシ(使い方、方法)の教授
 - 単なる使い方に終わらず**活用力への導き**
 - 情報科学の基礎
 - **専門科目・領域への興味喚起**
 - **キャリア教育への展開**

内容

PhotoShopによるポスター作製

POP作成を通じた商業活動の理解

Excel VBAによるプログラム体験

情報セキュリティと倫理
情報とモラル

ビジネスの中の情報活用

ICT最前線

自分を知ろう

業種と職種 働く意義

知って得するビジネスマナー

会社経営ゲーム

- 多面的な利用方法、活用方法の教授
 - **ビジネスでの利用場面の教授**
 - **生活の中の情報活用など**
- このような教材の開発など。

高等学校での キャリア教育

目標

- 自己理解の深化
- 職業観、勤労観の形成
(選択基準)
- 将来設計と社会的移行
- 進路の吟味と試行的参加

内容

- PhotoShopによるポスター作製
- POP作成を通じた商業活動の理解
- Excel VBAによるプログラム体験
- 情報セキュリティと倫理
情報とモラル
- ビジネスの中の情報活用
- ICT最前線
- 自分を知ろう
- 業種と職種 働く意義
- 知って得するビジネスマナー
- 会社経営ゲーム

各教科・科目
特別活動
総合的な学習の時間
キャリア・カウンセリング
体験活動
ポートフォリオ
産業社会と人間

☆進路先の決定
☆「働くこと」と法的知識
☆職業生活と社会責任
☆コース
☆進路計画の吟味と
課題発見

☆職業・上
☆コース・教科学習
☆個性の理解
☆宿泊オリ
☆進路

高校3年

自己の適性の判断
卒業後の進路決定
理想と現実の葛藤、
困難を克服するスキルの獲得

高校2年

他者理解
学修を通じた勤労観・就業観育成
職業的能力適性の理解
将来設計

高校1年

新しい環境適応
自己能力の理解
情報収集し進路選択の拡大

- ・ キャリア教育に関する学校全体の共通理解と職員研修
- ・ キャリア教育を生かした教育課程の編成
- ・ 家庭、地域社会との連携と開かれた学校づくり

職業人講話
奉仕体験・ボランティア学習
企業人出張授業
起業家教育
企業経営体験
出前授業
家庭・地域・企業との連携

高大連携事業での取り組み提案

基礎

応用

- 興味喚起
- 協働による教材の充実
 - 情報科目の充実
 - その他科目での活用
例) 数学での利用
総合学習での利用

- 専門科目における興味喚起
 - 職業との関連性
 - 業務紹介と学習内容
- 協働による教材の充実

内容の検討など高大で協働できる場が必要

まとめ

- 本学における高大連携事業の紹介
 - 情報系における人的、知的リソースの提供
 - 情報関連科目とキャリア教育関連科目の提供（大学初年時教育内容を提供）
 - 高大連携事業の在り方に関する提案
 - 導入授業の検討
 - 他の事業への展開
- 協働できる場の設置